

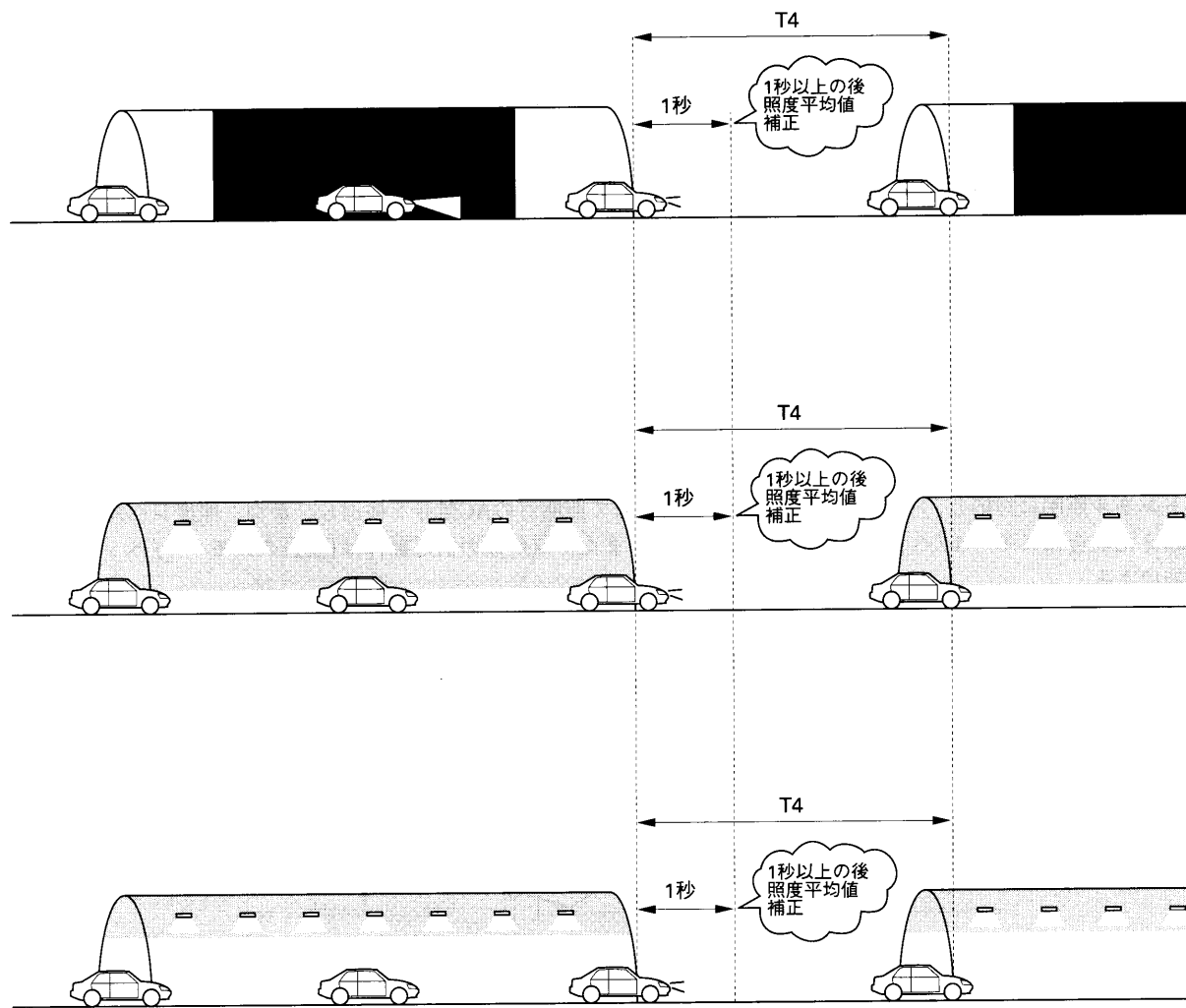
機能

連続したトンネル走行時の対応機能

通常作動時には、照度平均値(約30秒間の平均値)を計算しているがトンネルのように暗い場所を走行した後は、トンネル通過後も照度平均値は暗い値(暗い状態)となってしまう為、連続したトンネルでは2つ目以降トンネルモードとならない場合がある。

この場合、スモール/ヘッドライトは(表1)の照度レベルによる点灯となる為、点灯までの時間はT3、あるいはT1と長くなる。

このためトンネルでスモール/ヘッドライトが点灯し、次に明るい場所へ出てセンサ出力が明るい状態を約1秒以上検出した場合には、照度平均値を高照度状態(明るい状態)に置き換えることにより、2つ目以降のトンネルに対してもトンネルモードにて点灯可能にする。



- 照明なしトンネルはスモール/ヘッドライト自動点消灯により周囲の照度の検出により点灯消灯を行う。
- 高照度トンネル/一般トンネルは1つ目のトンネルを出た後周囲の明るさを検出し、再びトンネルモードに移れるように補正を行い、トンネルに入っていく。これは2つ目のトンネルに入る時、トンネルモードを認識させないと点灯が遅れる可能性がある為である。